

2021年3月期第2四半期

決算説明資料

2020年11月10日



株式会社富士ピー・エス

証券コード：1848

2021年3月期第2四半期 決算ハイライト、当期予想

● 2021年3月期第2四半期 連結決算

- 外部環境：建設投資は2020年度見通しは63.1兆円、2019年度見込みは65.3兆円と微減予想、プレストレスト・コンクリート建設業協会受注実績2019年度3,200億円に対し、本年度は増加の見込み、新設から維持補修・更新市場へシフト。
- 連結業績：売上高は2期連続増収、営業・経常・当期純利益とも2期連続増益

● 2021年3月期 当期見通し

- 外部環境：政府投資は微増するも民間投資が減少に転じるため、建設投資全体では微減の見通し。高速道路会社を中心に維持補修・更新市場は増加予想。
- 連結業績予想：売上高、各利益ともに増収増益予想
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響は軽微なものと予想してるため、本業績予想値に織り込んでいない。
 - ✓ 事業継続のため、感染症拡大防止に向け万全の体制で取り組んでいる。
- 配当予想 9 円 据置、配当性向24.7%、ROE 7.7%

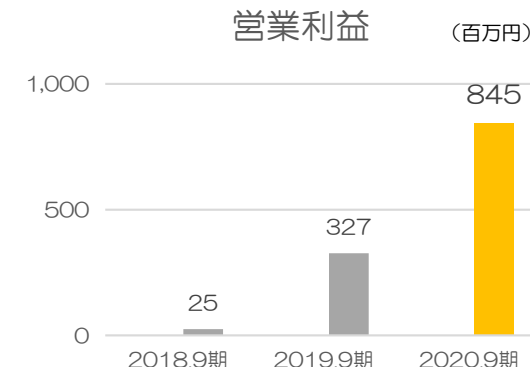
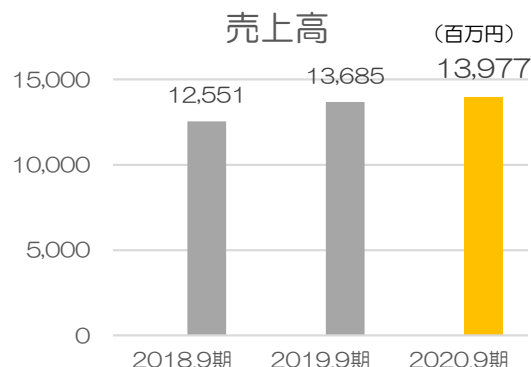
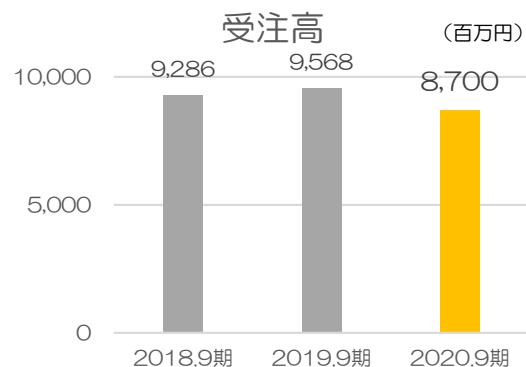


2021年3月期第2四半期 連結業績の概要（3期業績推移）

受注は契約遅れや発注のずれにより減少するも、売上高・営業利益は2期連続の増収増益

（単位：百万円）

	2018/9期	2019/9期	2020/9期	前年同期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	9,286	9,568	8,700	△867	△9.1%	発注のずれにより土木事業は3.6億円、建築事業は契約遅れが生じ4.6億円減少
売上高	12,551	13,685	13,977	292	2.1%	2期連続の増収
売上総利益 （売上総利益率）	1,414 (11.3%)	1,707 (12.5%)	2,215 (15.9%)	508	29.8%	工事採算性の改善に伴い、工事利益率の好転により増益
営業利益 （営業利益率）	25 (0.2%)	327 (2.4%)	845 (6.0%)	518	158.4%	売上総利益の増加により増益
経常利益	4	317	822	505	159.0%	同上
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△39	213	573	359	168.3%	同上

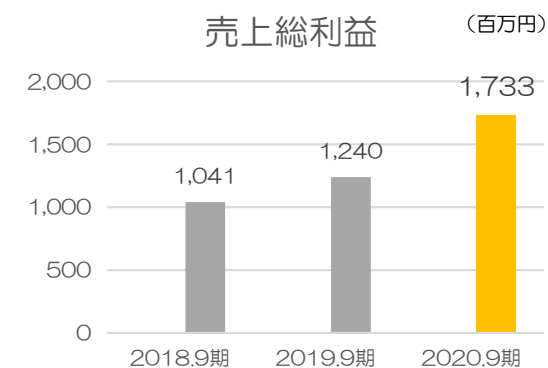
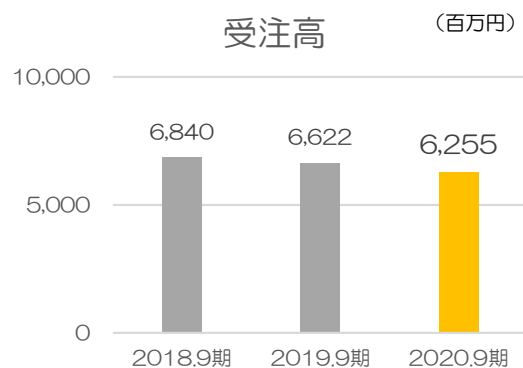


セグメント別業績（土木事業）

発注のずれにより受注高が減少するも、手持工事の順調な進捗により増収増益

（単位：百万円）

	2018/9期	2019/9期	2020/9期	前年同期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	6,840	6,622	6,255	△366	△5.5%	公共事業の発注がやや後ろ倒しとなり、競争激化による減少
売上高	9,660	10,009	10,730	721	7.2%	大型の手持工事の順調な進捗による増収
売上総利益 (売上総利益率)	1,041 (10.8%)	1,240 (12.4%)	1,733 (16.2%)	493	39.8%	工事採算性の改善に伴い、工事利益率の好転により増益



主な受注工事

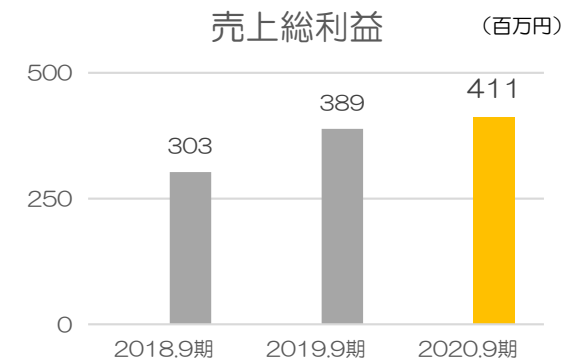
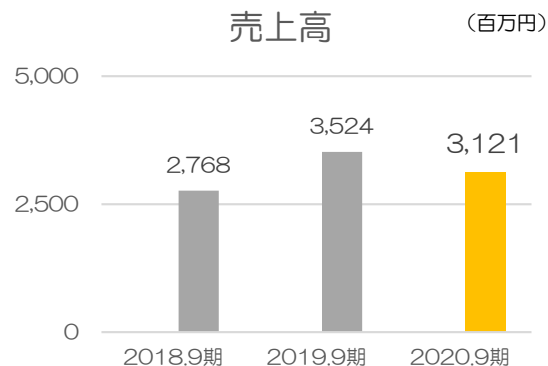
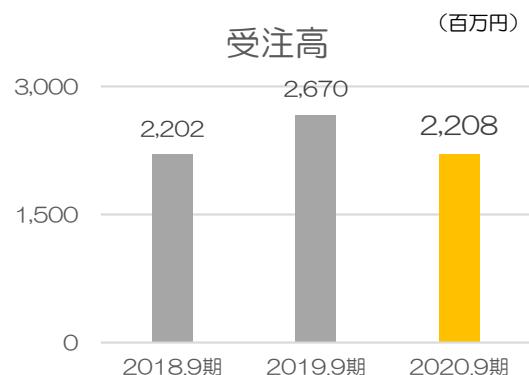
工事名称	発注者	工事概要
県道八女香春線今川橋橋梁上部工工事	福岡県	主要地方道八女香春線 橋梁架替事業
下万田・横町高架橋 PC床版製作運搬	(株)横河ブリッジ	首都圏中央連絡自動車道 4車線化事業
国道3号 千歳橋補修工事	国土交通省九州地方整備局	九州地方整備局で初めてのECI方式による橋梁補修工事 (PC外ケーブル取替)

セグメント別業績（建築事業）

契約遅れが生じ受注減少、売上高は着工遅れにより減少するも売上総利益は3期連続の増益

（単位：百万円）

	2018/9期	2019/9期	2020/9期	前年同期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	2,202	2,670	2,208	△461	△17.3%	首都圏の物件で契約遅れが生じたことによる減少
売上高	2,768	3,524	3,121	△403	△11.4%	マンション事業の着工遅れの影響で減少
売上総利益 (売上総利益率)	303 (10.9%)	389 (11.0%)	411 (13.2%)	22	5.7%	耐震補強事業の順調な進捗に加え、原価低減の取り組みにより工事利益率が好転



主な受注工事

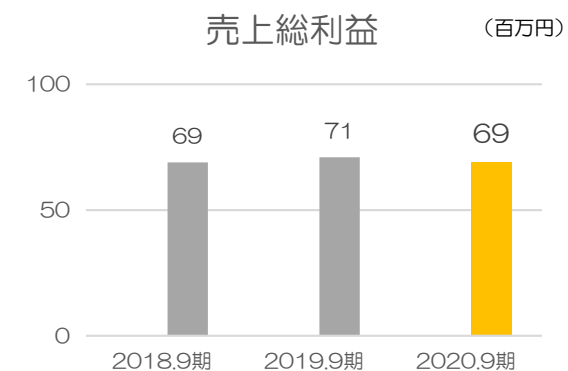
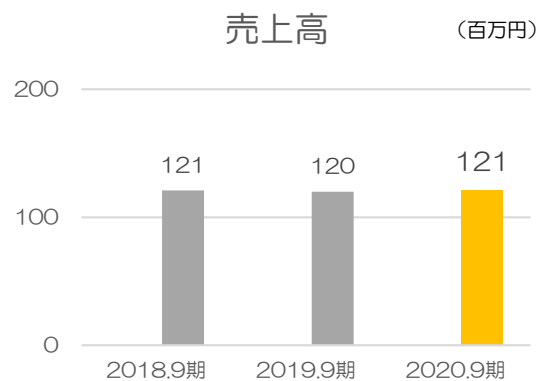
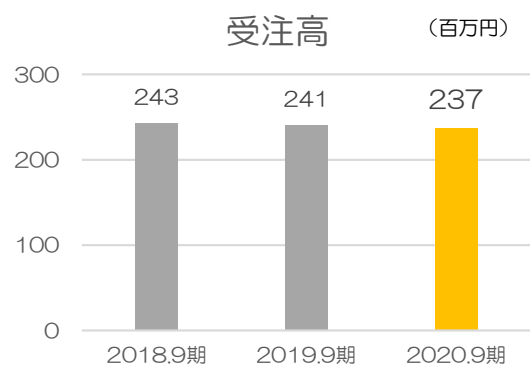
工事名称	発注者	工事概要
中区錦二丁目7番再開発	(株)ハセック	RC造30階建てタワーマンション工事のFR板の製作・運搬
中野2丁目地区第一種市街地再開発事業 施設建築物	西松建設(株)	RC造37階建てタワーマンション工事のFR板の製作・運搬
令和元年度市営福浜住宅4棟耐震等改修事業	匠建設(株)	住宅の耐震補強（スマイルダンパ工法）の製作・運搬・建方工事

セグメント別業績（不動産賃貸事業）

テナントの入居率は堅調に推移

（単位：百万円）

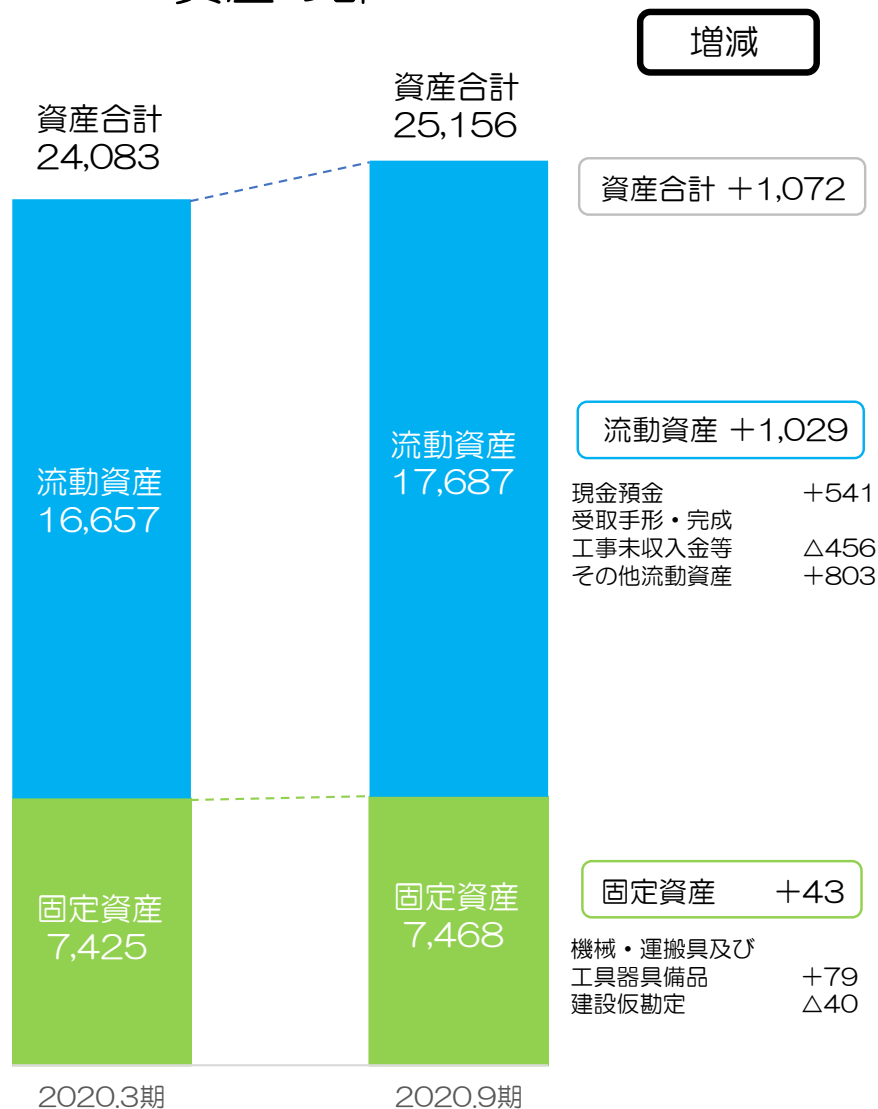
	2018/9期	2019/9期	2020/9期	前年同期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	243	241	237	△4	△1.8%	
売上高	121	120	121	0	0.8%	受注高、売上高、売上総利益ともに前期並み
売上総利益 （売上総利益率）	69 (57.5%)	71 (59.3%)	69 (56.7%)	△2	△3.8%	



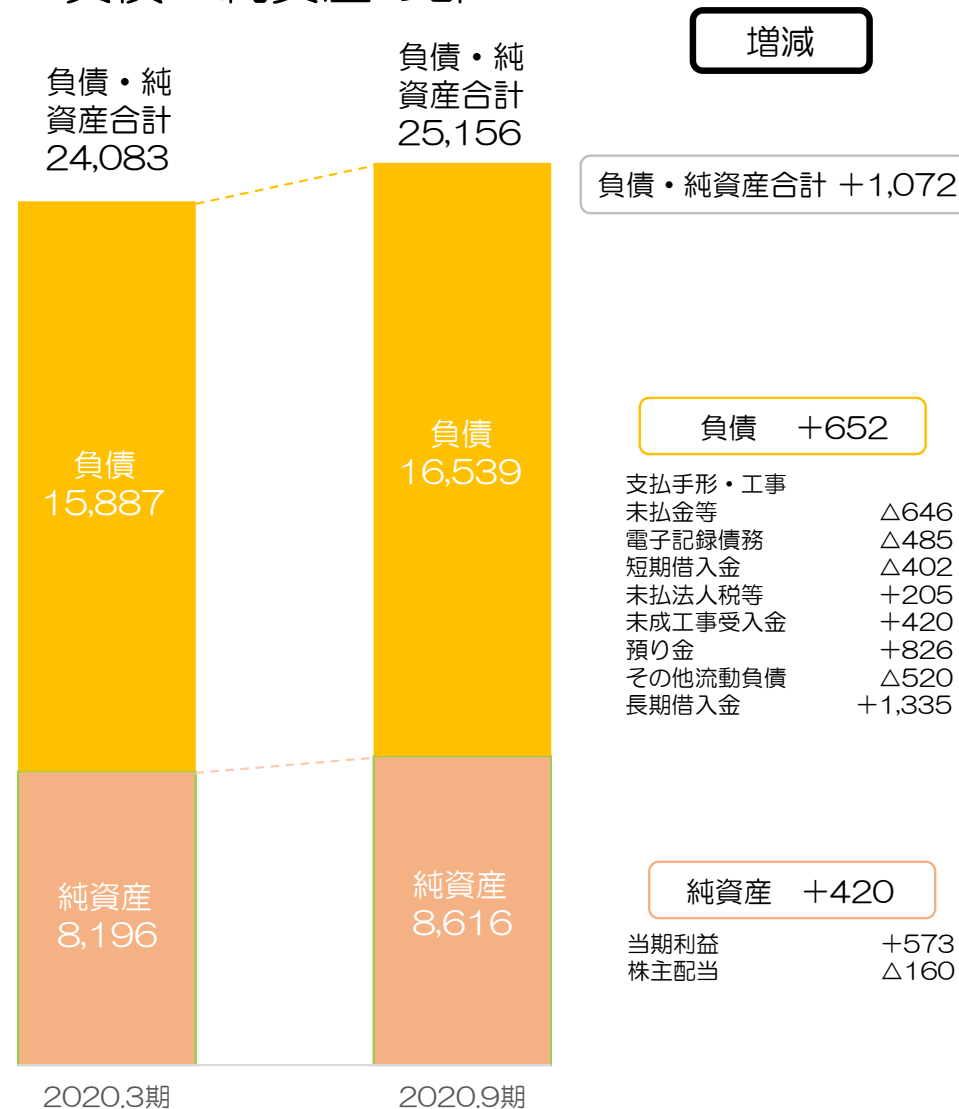
連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部

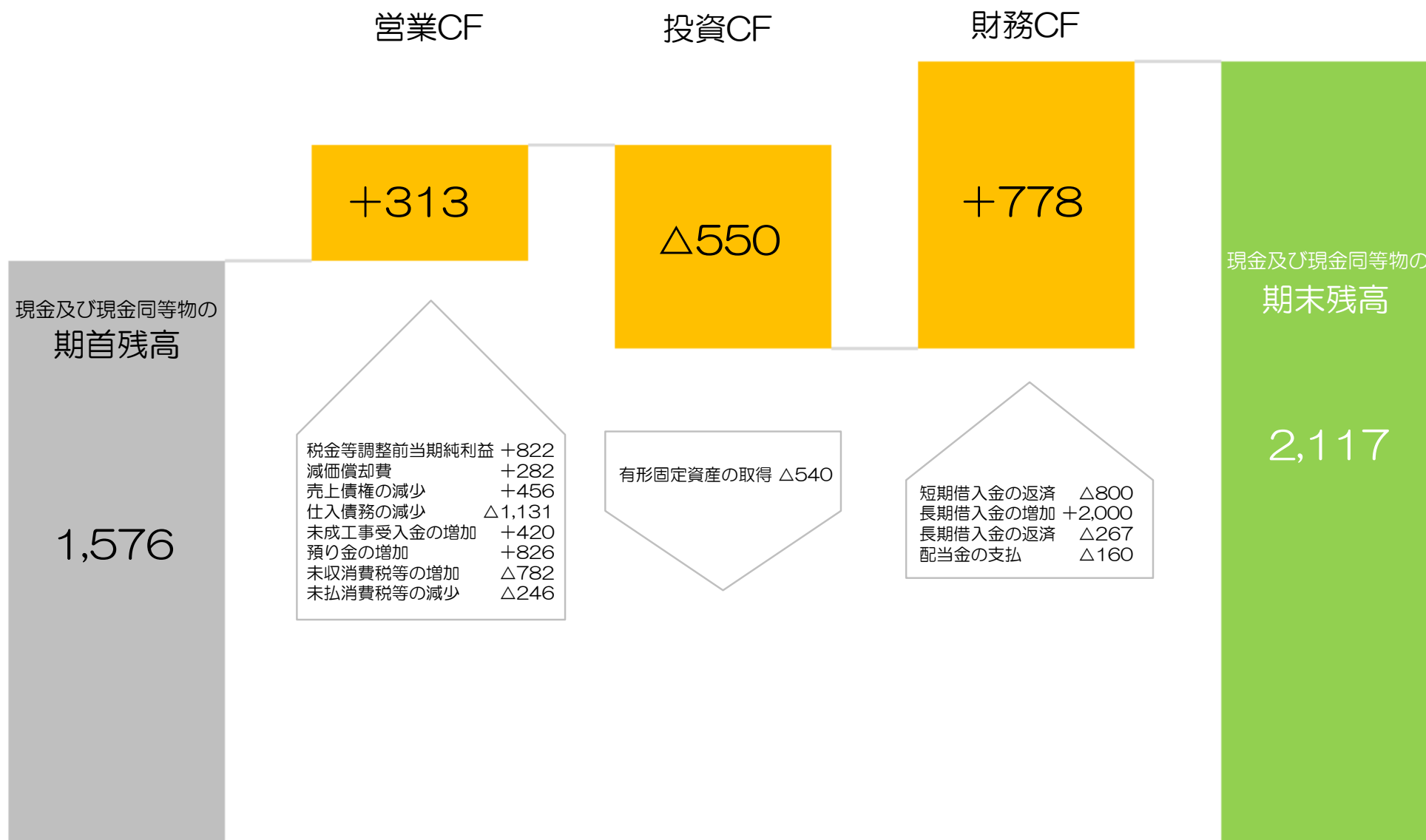


負債・純資産の部



連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)



2021年3月期 連結業績予想

受注高は増加予想、売上高・利益ともに手持工事等の順調な進捗により増収増益見込み

(単位：百万円)

	2019/3期 (実績)	2020/3期 (実績)	2021/3期 (予想)	前年同期比		コメント
				増減額	増減率	
受注高	32,830	28,516	30,160	1,643	5.8%	新設工事に加え、維持補修更新市場への積極的な営業展開を図ることによる増加予想
売上高	27,863	27,979	28,870	890	3.2%	手持工事及び工場製品の順調な進捗により増収予想
売上総利益 (売上総利益率)	3,893 (14.0%)	3,802 (13.6%)	3,900 (13.5%)	97	2.6%	売上高の増加に伴い増益予想
営業利益 (営業利益率)	917 (3.3%)	935 (3.3%)	970 (3.4%)	34	3.6%	売上総利益の増加に伴う増益予想
経常利益	887	925	950	24	2.7%	同上
親会社株主に帰属する 当期純利益	594	647	650	2	0.4%	同上
1株当たり配当金 (単位：円)	10.0円	9.0円	9.0円			据置(2019/3期は東証一部指定の記念配当1.0円による増配)

